

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもデイサービスファーストフレンド 北筑 (児童発達支援)				公表日	2026年2月9日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7/7	0/7	学習スペース、活動スペース、おやつを食べるスペースなど部屋がたくさんあるので分けて活動で来ている。	今のところない。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7/7	0/7	早めにシフトの調整を行っている。	改善などはないが職員の移動などによる職員配置に配慮が必要。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7/7	0/7	危険なところには柵をしてひとりでは行けないようにしている。	階段があるので上る際には細心の注意を払っての見守りが必要。(必ず職員がついていく)	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7/7	0/7	部屋数があるためみんな分散して各自心地よく活動している。	今のところない。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7/7	0/7	部屋数があるので音がうるさかったり、勉強に集中したい児童がいる場合は個室に行き学習など行っている。	職員の数も限られているので目の行き届く場所に配置して対応を行うことに要注意をする。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7/7	0/7	ケース会議、職員会議を行い、児童の計画、支援内容職員の反省点などをその都度話し合っている。	それぞれの解釈の違いがあるためその都度すり合わせを行い一貫性のある支援方針の統一を行う。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7/7	0/7	今回開所しての初めての評価表になる為今後改善点があれば早急な対応を心がける。	現時点ではない。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7/7	0/7	問題があれば職員で話し合い改善につなげている。	分からないままにせずその都度管理者に聞いて管理者からみんなに話を行う。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4/7	3/7	開所間もない為未実施。	導入を検討する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7/7	0/7	社内研修、外部研修にも参加して参加後はレポート提出をしてみんなで回覧して共有している。	研修内容がマンネリ化しないように心がける。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7/7	0/7	ホームページにて掲載している。	ホームページに記載していることを保護者に伝えていく。(SNSを通じても行う。)	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7/7	0/7	定期的なケース会議、また、必要に応じての臨時会議を行い、児発管又は2人目の児発管を中心に計画の作成を行っている。	支援方法等細かなところまで話し合い伝えていく。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7/7	0/7	職員の意見保護者、本人のニーズ、アセスメントを見ながら最善の利益を考慮して作成している。	児発管理、2人目の児発管のみで決めず必ず職員の意見を聞いて作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7/7	0/7	一人一人のカルテを用意して毎回計画を確認しながら支援を行っている。	支援中心にならずまずは児童との信頼関係を築くことから始めていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7/7	0/7	各自のカルテにて確認している。	インフォーマルなアセスメントの共通理解の場の設定が課題。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7/7	0/7	こども家庭庁から出されている手引きや記載例を参考に設定している。	地域支援、地域連携はなかなか行えていないので今後検討していく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7/7	0/7	職員で話し合い決めている。	児童利用時間との調整が必要。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7/7	0/7	行ったことのない場所やしたことがないことを中心に考えている。	ネットやSNSで情報を収集する。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7/7	0/7	その日の児童の体調、状態に合わせて、利用児童に合わせた気見合わせを考えている。計画では個人の目標、集団での目標を盛り組んでいる。	それぞれの児童の発達段階に応じた計画書作成を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7/7	0/7	児童が来所する前に行っている。	臨機応変に対応できることも頭に入れておく必要がある。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7/7	0/7	送迎終了時に連絡事項、問題点などを共有している。	休みの職員もいるためSNSにて連絡事項は共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7/7	0/7	日々のカルテを作成している。	カルテ記載方法などは定期的に研修が必要。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7/7	0/7	定期的なモニタリングを行い計画書見直しがある場合には見直しその後みんなで計画書についての会議を行う。	みんなでよりよい計画書作成を心がける。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7/7	0/7	児発管、2人目の児発管が参画している。	日時の調整が課題。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7/7	0/7	学校の先生などと密に情報交換を行っている。	たくさんの関係機関と連携をとる必要がある。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7/7	0/7	学校と保護者と情報共有、連絡調整を行っている。	下校時間の紙をもらえない時があるのでもらえるまで連絡する必要がある。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7/7	0/7	4月から小学生になる児童がいるため情報共有、支援内容などを聞き取る。	支援方法、対応方法など詳しく聞き取る必要がある。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	/				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4/7	3/7	公園や施設などで他児童と関わることはある。	毎日ではないが外出できる時にはするようにしている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7/7	0/7	送迎時に伝えあい共有している。	複数名送る場合には2名体制で送迎をする必要がある。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7/7	0/7	事業所で行った運動(職員と行った運動)等をお伝えし自宅でする簡単な事を伝えている。	研修会などあればその都度必要な保護者様にお伝えする。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7/7	0/7	契約時や送迎時にお伝えしている。	変更時などは職員に共有しているがわからず結局わかる職員が行くことがある。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7/7	0/7	保護者の意見、児童の意見、職員の意見を聞き作成するようにしている。	自分の意見を伝えれない児童の配慮が必要。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7/7	0/7	計画書の説明が必要な時には児発管も同行し保護者に説明同意を得ている。	今後仕事の関係でなかなか会えない保護者様には前もって日にちを決めてから会えるようにする。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7/7	0/7	相談があればその都度相談に乗り回答している。わからない時には調べて再度ご連絡をして支援、助言をしている。	たくさんの助言、支援の引き出しが必要。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1/7	6/7	市からの案内などを配布している。	配布はするが参加したかの返事を聞いていないので今後は配布後参加したのかも確認したい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7/7	0/7	苦情などは管理者が対応する。	事実確認と丁寧な対応を心がける。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7/7	0/7	SNSで活動の様子を発信し、毎月写真をラミネートしてお渡ししている。	顔出しNGの児童には十分注意すること。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7/7	0/7	鍵付きロッカーに保管している。	顔出しNGの児童には十分注意すること。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7/7	0/7	ホワイトボードに送迎メンバーや職員の顔写真を張ったりしている。	写真を見せながら言葉で説明をする。今のところ困ることはない。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4/7	3/7	特に行っていない。	現在行っていないため今後の課題とする。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7/7	0/7	各種マニュアルは策定し定期的に訓練を行っている。保護者にはSNSを通じて訓練の様子などを発信している。	危機感を持って訓練に挑む姿勢が大切。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7/7	0/7	BCPを策定し定期的に避難訓練などを行っている。	暴風、水害の想定が難しく今後の課題。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7/7	0/7	体験時、契約時に行っている。	今のところてんかん発作のある児童はいない。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6/7	1/7	見学時、契約時に確認を行い職員に周知している。	万が一アレルギーを摂取した児童の保護者から薬を預かっている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7/7	0/7	安全計画を作成し定期的な訓練、研修を行っている。	想定外なことが起きた時の対応方法。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7/7	0/7	お便りを作成し送迎時、契約時にお渡ししている。	今後説明不足にならないように職員への周知の徹底。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7/7	0/7	ヒヤリハットを作成し回覧している。	同じようなヒヤリハットがないように細心の注意を払い環境把握に努める。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7/7	0/7	年1回全職員参加確認している。	自分のみならず職員の言動を気にしながら行動する。何かあれば管理者に報告する。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7/7	0/7	保護者には契約時に説明している。職員は年1回全職員で確認している。	想定外の事象が起きた時の対応が課題。